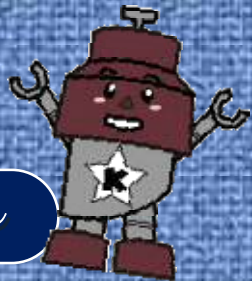




川口市 災害への備え できていますか？

ハザードマップ アプリ



～災害を事前に学ぶためのスマホ・タブレット用アプリ～

アプリで確認できる防災情報

画面の上半分には、端末のカメラ機能を介して表示される実際の風景に防災情報が重ね合わせて表示されます。また、下半分では、地図上で防災情報を確認することができます

避難場所 ・避難所情報	荒川洪水 浸水想定	地盤の揺れやすさ マップ	建物被害予測 マップ
------------------------	----------------------	-------------------------	-----------------------

最寄りの避難広場等の位置を直線最短距離で表示します。

洪水ハザードマップ(荒川)で示されている浸水深を風景に重ね合わせて表示できます。

首都直下地震発生時の市内の想定震度を風景に重ね合わせて表示できます。

地盤の揺れやすさマップをもとに震度に応じた建物全壊棟数率を風景に重ね合わせて表示できます。

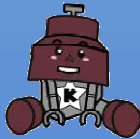


ダウンロードはこちらから

※ダウンロード料金は無料です



(App Store)



(Google Play)



★ 川口市ハザードマップアプリの活用方法 ★

- 川口市ハザードマップアプリは、実際の風景に避難所情報等を重ね合わせて確認できるアプリです。まちの危険性をより現実に近いかたちで事前に把握することで、災害発生時にどのような行動をとったらいいか考える機会としてください。
- 災害が起こってからではなく普段からこのアプリをご利用いただくことで、災害への備えを利用者の方々にお考えいただくためのツールとして作成しました。
- 通勤、通学、散歩など、「日常の移動」の際に日ごろ良く行く場所にどのような危険が潜んでいるのかを手軽に確認できます。
- 災害が発生したときに起こりうる被害を把握し、どのような避難経路が有効であるのかを確認できます。

★ ご利用の際の注意点 ★

- このアプリは災害発生時に利用するものではなく、想定される被害を見て災害時の行動を事前に学習するためのアプリです。
- 川口市ハザードマップアプリで表示している情報はあくまで被害想定です。
- 実際の災害が想定を下回ることもあれば上回ることもあることに留意してご利用ください。
- 避難場所等の最新情報は市ホームページに掲載していますので併せてご覧ください。

★ その他の手段で情報を見る時は ★

- このアプリのハザードマップ等の情報は防災本(川口市防災ハンドブック)でもご覧いただくことができます。
防災本(川口市防災ハンドブック)は市の各施設(本庁舎、支所、川口駅前行政センター、公民館、防災課、消防局、南・北消防署)で無料配布しているほか、市ホームページにも掲載しておりますので、こちらも併せてご活用ください。



■ お問い合わせ ■